

2023年10月2日

光ディスク事業の再編に伴う津山工場の閉鎖について

パナソニック コネクト株式会社(プレジデント・CEO 樋口泰行、以下「コネクト」)は、事業戦略強化の一環となる、光ディスク事業の再編に伴う津山工場の閉鎖について本日発表します。

コネクトが担当してきた光ディスク事業は、パナソニックがこれまでに培ってきたコンシューマー市場向けの Blu-ray ディスク、Blu-ray 技術をベースに開発したアーカイバルディスクや、データセンター等での使用を想定したストレージ装置のデータアーカイバー製品等の開発、製造、販売を進めてきましたが、コンシューマー市場では視聴スタイルの変化やクラウドの普及といった市場環境の変化、そして B2B 市場ではターゲットとするデータセンターのグローバルでの地域ごとのニーズの違い等に対応すべく、事業の再編を進めることにいたしました。具体的には以下の通りとなります。

(1) コンシューマー市場向け Blu-ray ディスクの終息

2006 年から販売を開始したコンシューマー市場向け Blu-ray ディスクは、これまで主に日本国内で、ハイビジョン放送の録画用途などでお客様にご愛用いただいていたのですが、映像コンテンツのネットワーク化による視聴スタイルの変化やクラウドでのデータ保存の一般化などにより需要が大幅に減少したことを受け、2023 年 2 月に生産を終了しました。

(2) アーカイブ事業の主管変更

2013 年よりデータセンター向けに取り組んできたデータアーカイバーを中心とするアーカイブ事業は、製品特長の省電力化を求められる中国市場での取り組みを進め、2022 年 11 月にパナソニックグループの連結子会社である中国華録・松下電子情報有限公司(総経理 金子 幸弘、以下「CHPAVC」)への主管変更をしています。

(3) 上記に伴う、パナソニック コネクト 津山工場の閉鎖

データアーカイバーの開発拠点でコンシューマー市場向け Blu-ray ディスクの生産拠点であった津山工場は、上記の状況を踏まえ、2024 年 3 月末日を目途に閉鎖することを決定しました。今後は社外での活用を検討していきます。また、これまで津山工場で Blu-ray ディスク及びデータアーカイバー用ディスクの製造等を請け負ってきたパナソニック AVC ディスクサービス株式会社(社長 寺原 範晃)については 2023 年 9 月 25 日の株主総会にて会社清算の決議を完了しています。

【パナソニック コネクト 津山工場の概要】

所在地	岡山県津山市草加部1458-5
操業開始	1979年
敷地	13万㎡
建物	6.3万㎡

【パナソニック コネクト株式会社について】

パナソニック コネクト株式会社は 2022 年 4 月 1 日、パナソニックグループの事業会社制への移行に伴い発足した、B2B ソリューションの中核を担う事業会社です。グローバルで約 29,500 名の従業員を擁し、売上高は 1 兆 1,257 億円※を計上しています。「現場から 社会を動かし 未来へつなぐ」をパーパス(企業としての存在意義)として掲げ、製造業 100 年の知見とソフトウェアを組み合わせたソリューションや高度に差別化されたハードウェアの提供を通じて、サプライチェーン、公共サービス、生活インフラ、エンターテインメント分野のお客様をつなぎ、「現場」をイノベートすることに取り組んでいます。また、人と自然が共存できる豊かな社会・地球の「サステナビリティ」と、一人ひとりが生きがいを感じ、安心安全で幸せに暮らすことができる「ウェルビーイング」の実現を目指しています。

※2022 年度売上高

以上